



総合学科の創造性 地域の力に
に し め

新志芽通信

No.005

令和6年5月27日
秋田県立西目高等学校

1年「産業社会と人間」での農業実習 【5月22日(水)】

～さつまいもの定植から収穫まで～

「総合学科」では、卒業後の人生をどのように生きていくかを生徒たちに考えてもらうため、「産業社会と人間」という授業が設定されており、毎週2時間の授業を行います。その授業の中の 하나가、農業に関わる「さつまいもの定植から収穫まで」という実習です。今回は1年生全員で、畝作りを行いました。この後、苗の定植を行い、雑草を抜くなどの管理を通し、9月の収穫まで産業体験を行っていきます。土に触れる機会の少ない生徒たちにとっては、この実習を通して「農業」という産業の仕事について考えるよい機会になります。例えば、この実習を体験し、1年次に教養文化系列だった生徒が2年次から農業科学系列に変更し、農業を学んでいったという先輩もいました。こういった経験、学びを大切にしたいと思います。



農業科学系列田植え 【5月21日(火)～23日(木)】



本校が所有している3枚（4.8ha）の水田で、この3日間で田植えが行われました。22日（水）は快晴でしたが、暑すぎず、とても爽やかな陽気の中で実習を行いました。田植えに従事したのは、農業科学系列に所属している2・3年生の生徒たちです。田植機に苗を積み、教師の指導の下、3年生の生徒が機械を使って苗を植えていきました。全員で協力し、予定通り田植えを完了させることができました。



全県総体壮行会【5月21日(火)】

本校の代表として全県総体へ出場する選手たちへの壮行会が行われました。各部活動から大会日程、会場についての報告と大会に向けての決意表明がありました。選手たちへ校長より激励の言葉が送られ、その後、全校生徒で校歌およびエールで応援しました。選手たちは緊張感のある引き締まった顔つきで激励を受け、大会に向けての決意をあらたにしているようでした。ぜひ頑張ってもらえればと願っています。



勉強の仕方について①(「進路の手引」より)

今回は、国語の勉強の仕方について紹介します。進路目標が就職・進学を問わず、国語を学び知識を身に付けるためのコツを読み取ってください。

＜国語を学習する際の心構え＞

高校の国語では「現代文」と「古典」をみなさんは学習しますが、大前提として分かっているといけないのは、これを読むために必要な知識や「読み方」はそれぞれ違うということです。「古典」の「古文」と「漢文」は視覚的にも判別しやすいと思いますが、「現代文」を「論理的文章(例：評論)」と「文学的文章(例：小説、詩)」に判別できない生徒が多い気がします。「論理的文章(例：評論)」と「文学的文章(例：小説)」との最大の違いは「内容」ではなく、「言葉」(言葉の遣い方)だということをしっかり理解して読み分けることが大切です。今回はこの部分を中心に説明したいと思います。

＜論理的文章と文学的文章について＞

論理的文章の言葉は現実近く、最大の特徴は論理的に書かれているということです。論理的とは順序立てるということなので、例えば1の次は必ず2であり、突然4になったり、順序が突然変化したりすることはありません。順序立てて文章を書くためには「接続詞」や「指示語」、「キーワード」などがとても大切になります。つまり、論理的文章を読むためには、「接続詞」や「指示語」、「キーワード」などに関する知識が必要になり、実際に論理的文章を読む場合にはこれらにマーキングすることをおすすめします。

◎主な接続詞：だから、しかし、もちろん、また、たとえば、
すなわち

◎主な指示語：これ、そこ、あちら、あの、そんな

◎キーワード：文章全体を象徴する言葉、

何度も出てくる言葉、「」の言葉

次に文学的文章ですが、例えば、小説の世界は虚構です。作者がデザインした登場人物があり、場面の展開によっては突然明る

い場面になったり、暗い場面になったりすることもあります。そのため、文学的文章を読むために大切なのは、5W1H(①いつ②どこで③だれが④何を⑤なぜ⑥どのように)という物語設定や、心情表現(心情語、会話、動作行為、心象風景など)をマーキングし、しっかりと根拠を明確にしながら、登場人物の心情や作品のテーマについて迫ることが重要です。

◎心情語：例 嬉しい、悲しい

◎会話：例 「絶対に勝つ！」→希望、
「もう知らん！」→怒り

◎動作行為：例 飛び上がってついてくる→喜び、
唇をかみしめる→悔しさ

◎心象風景：例 澄み切った青空→主人公の心情が嬉しい
どんよりとした空→主人公の心情が沈んでいる

＜古文と漢文について＞

古文と漢文の学習は主に進学希望の生徒が対象となりますが、単語や文法の知識がなければ絶対に正確な読みはできません。これらは、できれば大学受験を考えている生徒は、高校2年生までに完璧にする必要があります(高校3年生は他の教科の勉強が忙しいので、時間をかけられない)。少なくとも古文単語帳1冊、古文と漢文の文法書をそれぞれ1冊はマスターしてください(個人的にゴロで覚えるのがオススメなので、興味がある人はインターネットで調べてみてね)。そして、基本的なことですが、何度も音読することが大切です。音読しながら単語の意味や文法をチェックすると、頭に入りやすいです。また、論理的文章や文学的文章風の古文や漢文があるので、現代文の「読み方」をマスターすることも絶対に必要になります。